

【取り組み】

(1) 庁内連携体制の強化

- ▶ 庁内横断的な施策の企画や調整など、協働の中核を担う機能を持った部署を新設。
- ▶ 全庁的な取り組み体制を、必要に応じ段階的に整備。

「地域共生社会推進室」
「地域共生推進担当参事」

(2019年4月設置)

(2) 「地域力の強化」と「包括的支援体制づくり」

- ▶ 住民に身近な圏域に、様々な困りごとを相談できる「ほおっちょけん相談窓口」を設置し、行政と地域住民を含む多様な主体が協働して「つながり」のある支援ができる仕組みを構築する。

「ほおっちょけん相談窓口」の設置

(2019年11月5日開設)

- ▶ 課題解決への支援にあたっては、フォーマルおよびインフォーマルの様々な分野の関係機関が連携することが重要であることから、地域共生社会推進室においてその調整を行い、ネットワークづくりなど包括的な支援体制の構築を図る。

(3) 社会資源情報収集・提供体制の構築

- ▶ 日常生活の問題解決にあたっては、公的サービスだけでなく、既に地域にある民間のサービスやサロンをはじめとする地域活動など社会資源情報を知り、自ら選択することが大切。

⇒ 地域力(住民力)の強化

- ▶ 支援する側においても、地域の社会資源情報を把握し、支援する際に活用することが求められている。
- ▶ 同時にボランティア情報なども提供し、ボランティア活動や地域活動に参加しやすい環境を整える必要がある。
- ▶ 地域の様々な社会資源情報を収集し提供できる仕組みを構築し、足りない社会資源を創り出すことのできる環境を整備する。

高知くらしつながるネット
(Licoネット)の導入

(2020年1月31日運用開始)



“高知くらしつながるネット（愛称『Licoネット』）”

運用開始日:1月31日(金)10時

『Licoネット』へのアクセスが可能となる日時です。

【名称・愛称】 高知くらしつながるネット（愛称『Licoネット』（リコネット））

※『Licoネット』は、くらし= Living, つながる= Connect をあわせた愛称です。

サイトURL <https://chiiki-kaigo.casio.jp/kochi>



【目的】

医療・介護・障害・子育て等の施設やサービス、相談窓口、地域のボランティア団体等の生活支援情報を市民及び専門職等の支援者に情報提供できるサイトを構築し、複合的課題を抱える方々への効果的な支援につなげる。また、地域にある資源を見える化することで、不足するサービスを創り出すといった地域課題解決に向けた取組の推進を図る。

【掲載情報】（運用開始当初）

市内の**医療、介護、障害、子育て、地域資源**の5分野の施設やサービス、相談窓口等（約2,700件）の名称・所在地・サービス内容等

【利用者・活用イメージ】

- ①市民 検索から複数分野の生活支援情報の把握、地図上ででの表示が可能。
例) 転入してきた子育て世帯・・・自宅周辺の保育園・幼稚園・子育てサロン・地域子育て支援センターなどの情報を地図上で把握
- ②支援者 専門職等支援者向けページで、支援に必要な情報の閲覧・検索が可能。
例) 対象者の自宅周辺のサロンや百歳体操会場などの地域資源を把握、支援プラン作成に活用
- ③行政 事業者へのお知らせ・・・会議や研修会のお知らせを掲載、出欠確認も可能。



高知市では、「地域共生社会の実現」を目指し、様々な取組を進めています。この高知くらしつながるネット（愛称『Licoネット』（リコネット））は、その取組の一つであり、「人と人、人と資源がつながる」ことをイメージした名称としました。市民のみならず、ライフステージに応じて必要な、知りたい資源情報が得られるものに・・・、支援者となり得る皆さまにとっても、支援する際に活用していただけるものにしていきたいと考えています。

